2602

株価

4,180 円

2023.8.31 終値

優待品 換算金額

1,500

通期

1株当たり 配当金

120.0 円

2024.3 (予)

配当 利回り

2.9

2024.3 (予)

3月末日 9月末日

市場

東証 プライム

NET-IR



NISSHIN 植物のチカラ。"OilliO

株主優待 割当基準日3月末日/9月末日

自社製品(3月)

1,500円相当 ——(100株以上) 3.000円相当 ——(200株以上)

※上記に加え、全株主さまに自社商品の優待価格販売



3.000円相当の自計製品例

食用油のリーディングカンパニー "植物のチカラ。"を原点に、持続的な成長を目指す

日清オイリオグループは、創業以来、食用油のリーディン グカンパニーとして、植物がもつ「おいしくするチカラ」「健 康にするチカラ」「美しくするチカラ」を最高の技術によっ て引き出し、世の中にお届けしています。

当社グループは、「日清オイリオグループビジョン2030」 において2030年に目指す経営目標としてROE10%、 ROIC7%を設定し、どのような環境下においても資本コス トに見合う資本収益率を獲得できる体質づくりを進めていき ます。また、その実現に向けた2021年度から2024年度ま での4カ年の中期経営計画「Value Up+(バリューアップ プラス)」も推進しています。"植物のチカラ®"と"油脂をさら に究めた強み"で、食の新たな機能を生み出すプラットフォ ームの役割を担い、多様な価値を創造し、"生きるエネルギー" を全ての人にお届けする企業グループを目指していきます。

ビジョン2030と中期経営計画 「Value Up+」

Value Up+ 2024年度経営目標

売上高 営業利益 5,400億円

2017年度

Coillio

前中期経堂計画

2017-2020年度

事業構造改革を

より成長路線に 軸足を移す

継承しつつ

Value Up 2020

170億円 ROE ROIC 8.0% 4.6%

日清オイリオグループ ビジョン2030 これまでより「もっとお客さまの近く」で ビジネスを展開し、グローバルトップレベルの 油脂ソリューション企業へ大きな飛躍を遂げる

●ビジョン2030経営目標

ROE 10% ROIC 7%

2021年度

2024年度 中期経営計画

2021-2024年度 `Value Up+∃

多様な価値を創造し続ける 企業グループに変革する

CSVを成長ドライバーに 成長路線を加速する

2025 -2030

年度

2030年度

投資家の皆さまへ



代表取締役社長 くの たかひさ ク野 貴久

昨今、地球規模での環境問題や社会課題の累 積、消費・生活行動の変容や一層の多様化の進展 など企業市民として、これまで以上に持続可能な 社会「サステナビリティ」への貢献が求められて います。こうした認識の下、当社グループでは、 「2030年に目指す姿」と「戦略の指針」である「日 清オイリオグループビジョン2030」を策定し、 将来にわたる持続的な成長と持続可能な社会の 実現への貢献に取り組んでいきます。これからも 貴重な植物資源を活かし、お客さまの視点に立っ て、価値ある商品・サービスを高い技術と品質で お届けし、「おいしさ・健康・美」の追求を通して、 人々・社会・経済の発展に貢献していきます。

会社プロフィール

1907年、大豆油と大豆粕の製造加工・貿易を行 う日清豆粕製造㈱を創立。18年に社名を日清製 油㈱と改め、各種植物油脂・油粕などを製造。 24年、精製度の高い大豆油を使い、日本初のサ ラダ油「日清サラダ油」を発売。以後、食用油メ ーカーとして業界をリードする。49年に東証1部 に上場。92年に「日清キャノーラ油」、96年に 「BOSCOオリーブオイル」を発売。2002年、 経営統合により日清オイリオグループ㈱が誕生。 2003年に特定保健用食品「ヘルシーリセッタ」 (現: MCTリセッタ) を発売。2007年、創立 100周年。2021年「日清オイリオグループビジ ョン2030」策定、中期経営計画「Value Up+」 スタート。













DATA (2023年3月末日現在)

■設立:1907年3月 ■資本金:16,332百万円

■市場:東証プライム

■決算月:3月

■発行済株式数:33,716千株

■従業員数:3,001人

日清オイリオグループ

■お問い合わせ先

〒104-8285 東京都中央区新川1-23-1 日清オイリオグループ(株) 広報IR部

TEL.03-3206-5109 https://www.nisshin-oillio.com/

おいしさ・健康・美 を追求する事業展開

3つの事業戦略領域で、当社グループの強みにさらに磨きをかけ、食の新たな機能を生み出す プラットフォームの役割を担うことで、新たな価値創造を実現していきます。

構成比

油脂

売上高 4.683億円

《油脂・油糧》 ホームユース(食用油) 業務用食用油

■加工用食用油 ■油粕 など 《加工油脂》 パーム加工品 チョコレート用油脂

■マーガリン ■ショートニング など

食用油や食品用・肥料用のミール(油粕)など油脂原料のも つ"植物のチカラ®"を最大限に活かし、毎日の食生活を支 えるとともに、パーム油をベースにした油脂をはじめ、多 様な用途に対応した食用加工油脂を開発・販売しています。 日本国内だけでなく、マレーシアを中心に欧州・中国など にも拠点をもち、グローバルに事業を展開しています。

戦略・取り組み

Bto C ·····

かけるオイルや味つけオイルなどの付加価 値カテゴリーのさらなる拡販、新たな価値 を提供するクッキングオイルの充実化な ど、油脂の価値向上の仕掛けにより、国内 家庭用市場の継続的な拡張を図る

Bto B

継続的な商品機能向上とユーザーサポート によるソリューションの強化、マーケティ ングとソリューション・共創による新たな バリューチェーンの構築によりマーケット シェアを拡大する

売上高 構成比 **11.7**%

加工食品・素材

売上高 651億円

■チョコレート ■調味料

■機能素材・食品 ■大豆素材・食品

チョコレートや調味料などのほか、中鎖脂肪酸 (MCT) やウェルネス食品、加工食品向けの大 豆蛋白商品などを開発・販売しています。

アプリケーション技術や食品の開発力を磨き、 食品としてのおいしさや健康においてお客さま の共感を生む価値を創造する

当社グループがもつ食品素材を体系化し、食の 潮流の変化を捉えて、市場ニーズに迅速に応える

●油脂の価値を高める好循環サイクルを作る





ファインケミカル

売上高 204億円

■ファインケミカル ■環境・衛生

化粧品分野を中心とした機能性素材のほか、ア ルコール製剤や洗剤などを開発・販売しています。 日本国内だけではなく、スペイン・上海にも拠点 を置き、グローバルに事業を展開しています。





※売上高および売上高構成比は2022年度、これらのほかに「その他の事業」の売上高構成比が0.5%あります ※端数調整の関係により数値が一致しない場合があります

業績(連結) 売上高(百万円) 予 経常利益(百万円) 600.000 16.000 450,000 12.000 8,000 300,000 150,000

決算期	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3(予)
売上高 (百万円)	333,416	336,306	432,778	556,565	540,000
経常利益 (百万円)	12,634	13,836	12,648	16,242	16,000
1株当たり 利益(円)	244.6	278.3	265.2	344.2	354.8
1株当たり 配当金(円)	80.0	80.0	90.0	120.0	120.0

用。同期以降の業績は当基準等適用後の数値

*2024年3月期の予想値は、2023年8月9日の公表値

株価チャート(月足) 4,200 白株 価 出来高 3 800 3 000 2.800 2,000 1.000

※最新の株価については net (www.net-ir.ne.jp) でご確認ください。

株価チャートは、QUICKデータ(2023年8月31日時点)を基に作成しています。財務データは基本的に連結(配当金のみ個別)の実績直近4期分を記載しており、予想1期分の数値記載については、各掲載企業の任意となっています。また、1株当たり配当金の「特」は特別配当込み、「記」は記念配当込みであることを指します。業績についての掲載内容は各企業から情報提供を受けて制作したものですが、最新の情報についてはご自身でご確認をお願いいたします。

2000^

4000~

6000~

日

清

オイ